

この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



株式会社 StudioBiancaFarm スタジオビアンカファーム
梅津 うめつ 駿さん しゅん (鮎貝在住)

農業を通じてたくさんの人とつながり、
収穫の喜び・おいしさの喜びを共感したい



今回ご紹介するのは、町内で果樹園を営む梅津さんです。

梅津さんは、元々実家が果樹園でしたが、中学校卒業後は工業系の高校に進学し、当時は農業を継ぐということは考えていなかったそうです。しかし、ある時高校の先生に農業大学校を勧められたのがきっかけで進学。その大学校で農家の後継ぎを夢見る同級生たちと出会ったことが大きな刺激となり、自身も家業を継ぐことを決意し現在に至ります。

梅津さんの果樹園では、主にブドウと桃を栽培しています。「近年は、気候変動や有害鳥獣被害も多く、従来のやり方だけでは難しくなっていると感じています。特に天候に左右されやすいので、情報収集は欠かせません。先輩農家の知恵を借りながら、その都度適切な対処を考えます。後を継いで今年で10年目を迎えますが、日々勉強です」と語る梅津さん。

梅津さんは、自身の果樹園を活用して、関係人口を増やすためのイベントなどにも積極的に参加しています。「地域に根ざした仕事

丹精込めて育て、
皆さんにお届けします！



ですので、人口減少などの問題をすぐく身近に感じています。移住者や関係人口の増加は、この町にとってすぐく重要なものであり、農業を通じて貢献できることがあるのであれば、今後も積極的に参加していきたいと考えています。これまでの活動もあって、今はマルチワーカーの方にサポートいただき非常に助かっている部分もありますし、収穫の喜びを多くの人と共感できることは、私にとっての大きなやりがいでもありますので、人とのつながりを大切にしながら頑張っていきたいです」と農業を通してさまざまな可能性を模索し、チャレンジしたいという熱い思いを語ってくれました。